



あかまつ

七飯町立七重小学校
学校だより No.10
R4年3月24日

「わかる・できる・つかえる」力の育成を目指して

～この1年間 ありがとうございました～

七飯町立七重小学校長 本 多 宏 至

寒さ厳しい冬も、柔らかな陽射しとともに雪解けも進み、ようやく春めいてまいりました。PTAはじめ、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

さて、3月18日（金）、第75回卒業式を実施しました。今年度の卒業式もコロナ禍での実施となり、座席位置の確認、換気、消毒、卒業式の流れなど検討を加えて開催することができましたが、来場については、保護者2名までとさせていただきます。

卒業生は緊張感の中にも堂々とした姿を示し、立派に巣立っていきました。式が進む中、最高学年としてBe the best～最高になれ～を学年としてのテーマをもち、「わかる・できる・つかえる」力を身に付けようと努力してきました。バトンをつなぎチームのために全力で駆け抜けたフェアプレイ発表会でのリレー、土砂降りの中、計画したことが思うようにできなくてもやりきった修学旅行の自習研修、2月に延期になりましたが一人一人が自分の役割をしっかりとこなし、演じきった学習発表会など数々。スケジュールや取り組む内容が変わっても対応し、やり切る力が十分育ち、「わかる・できる・つかえる」力を見事に身に付け、成長しました。当日は、そのような卒業生の門出をお祝いし、成長した子どもたちの姿を卒業式で見ていただくことができました。98名の卒業生が、これからも素直に成長し、さらに努力を重ね、多くの人たちから感謝される立派な大人になってくれることを願っています。



～6年担任より卒業生へ～

また、本日をもって令和3年度の全ての教育活動の終了である修了式を行い、修了証を学年の代表の児童に授与しました。「（代表でもらうのが怖かったけど）受け取って、ほっとした。」「もらうことができうれしかった」と子どもたちの声が聞こえました。およそ200日間の学校での学習でしたが、「わかる・できる・つかえる」力を身に付けるため一人一人が自分の目標を立て、その達成に向けて努力しました。お子様から手渡されたあゆみに目を通しながら、「こんなことができるようになったんだあ。」「こんな楽しいことを知ることができて、うれしかったらうなあ。」「今まですぐにあきらめていたのに、我慢強くなったなあ。」「目標が達成できていないじゃないか。」「まだタイピングの練習中と言ってたけど、クロームブックが使えてるんだ。」等々お子様の頑張りには大きな拍手をあげてください。

子どもたちは、明日から4月5日（火）まで春休みとなります。交通事故はもちろんのこと、様々な事件事故にあわないようにご家庭でもご指導いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、今年度もPTAはじめ、子どもたちの登校を見守り指導していただきました交通安全指導員の皆様、関係各機関の皆様には、いろいろな活動を通してご支援していただき誠にありがとうございました。来年度もなお一層のご支援ご協力を申し上げ、令和3年度を終えるにあたっての感謝の言葉といたします。